令和4年度活動報告および令和5年度活動計画

国際化対応小委員会

吉見雅行

組織体制

◆ 委員長: 吉見雅行

◆ 副委員長: 丸山喜久

◆ 幹事長: 未定

◆ 委員数:8名(令和5年5月現在)

清野純史

庄司 学

高橋良和

能島暢呂

小池 武(顧問)

小長井一男(顧問)

活動概要

- 学術的な地震被害調査報告の英文版を適時情報 発信する「随時受付可能な(査読付き)英文電子 ジャーナル(JSCE Disaster Fact Sheets)の発行」を目 的として、そのWeb siteの維持管理・広報周知活動・ JSCE Disaster Fact Sheets編集運営活動を行う.
- JSCE Disaster Fact Sheetsとして、これまでに26編を Web siteに公開している(2023年5月現在). 最終的には地震災害を含む災害一般に対する被害調査報告英文電子ジャーナルの発行を目指すものとする.

令和4年度の活動報告

- 委員会・WG活動等
 投稿されたFactSheetに関するメール審議を行った。
- 2) 行事等なし
- 3) 出版物等

2022年度は1件のFactsheetを発行した. 内容は, 2022年3月16日の福島県沖の地震に関する報告である. なお, 2023年5月25日時点で2件のFactsheetの内容確認を委員会内で行っている.

掲載中のFact Sheets



積極的な情報発信と 論文編集に関するご協力お願い

▶ 積極的な投稿を!

- ✓ JSCE会員→国内災害調査
- ✓ JSCE会員→海外災害調査
- ✓ 海外調査団等→国内災害調査
- ✓ 海外調査団等→海外災害調査

国内災害の海外への速報 海外災害の国内への速報 調査への国際協力

海外災害の国内への速報

▶ 査読・編集体制へのご協力

- ✓ 災害発生に伴って投稿数が、かなり増加した場合
- ✓ 委員の専門分野と投稿内容が, かなり異なる場合

	JSCE会員:国内災害の海外への速報	JSCE会員:海外災害の国内 への速報	海外調査団:調査 への国際協力	海外調査団:海外 災害の国内への速 報
2012 2編	2 (2011.3.11東北地方太平洋沖, 2011.4.11浜通り)			
2013 4編	2 (2011.3.11東北地方太平洋沖, 2013.4.13淡路島)	1 (2012.8.11イラン)		1 (2013.10.15 フィリピン)
2014 0編				
2015 2編	1 (2015.11.12長野県神城)	1 (2015.4.25ネパール)		
2016 7編	4 (2016熊本×4)	2 (2015.4.25ネパール×2)	1 (2016熊本)	
2017 1編				1 (2017.2.10 フィリ ピン)
2018 3編	1 (2018.9.6北海道胆振東部)	2 (2017.9.19メキシコ, 2017.11.12イラン)		
2019 1編	1 (2018.9.6北海道胆振東部)			
2020 2編	1 (2019.6.20山形県沖)			1 (2019.4.22 フィリ ピン)
2021 3編	1 (2021.2.13福島県沖) 1 (2018.6.18大阪府北部)			
2022 2編	1 (2022.3.16福島県沖)	1 (2018.9.28 インドネシア)		
計26編	15編	7編	1編	3編

2022年度

• [FS2022-E-0002] 2022年3月16日福島県沖の地震

Geotechnical Preliminary Report of The Mj 7.3 Fukushima Earthquake on March 16, 2022

Masataka SHIGA, Kwok-Kwan LAU, Pei-chen HSIEH, and Takashi KIYOTA

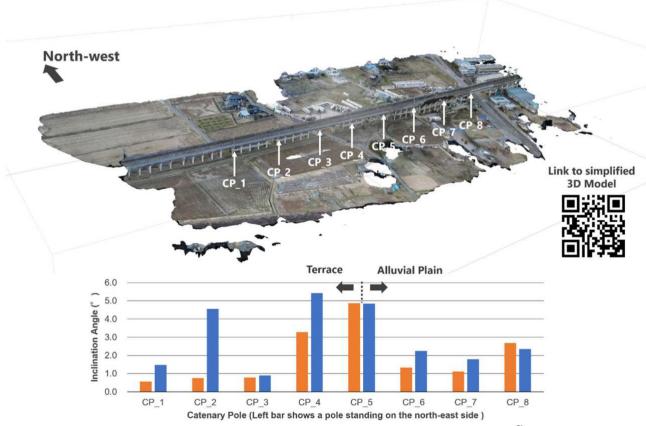


Fig.6 Absolute inclination of the catenary poles in the adjacent area. The decimated 3D model is available⁹⁾

令和5年度の活動計画

1) 委員会・WG活動等の予定

JSCE Disaster Fact Sheetsの募集,審査,掲載の一連の活動を継続する.

Fact Sheet発行に関する課題の整理.

- 2) 行事等の予定 なし
- 3) 出版物等の予定 Fact Sheetの発刊